

この資料は、英国ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（以下、BAT）が2024年3月11日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

## BAT、英国サウサンプトンに、3,000万ポンドを投じた新カテゴリー製品向けイノベーションセンターを開設

2024年3月11日

- このイノベーションセンターは、BATが「A Better Tomorrow™（より良い明日）」を築いていくための変革を推進するという極めて重要な役割を果たすものです。
- サウサンプトン研究開発本部の施設開設によって、BATの次世代ニュー・カテゴリー製品の開発をさらに加速させます。
- 研究開発への3,000万ポンドの投資は、「スモークレスな世界をつくる」「2035年までに売上の50%を非可燃性製品から得てスモークレスなビジネスを実現する」という、BATのビジョンに沿ったものです。

BATは、サウサンプトンにある自社のグローバル研究開発（R&D）本部に最先端のイノベーションセンターを開設しました。当センターは、BATが「A Better Tomorrow™（より良い明日）」を築いていく上で、その変革を推進するという極めて重要な役割を果たすこととなります。

3,000万ポンドを投じた新施設は、BATの研究開発能力を強化するためのもので、BATのリスク低減\*<sup>1</sup>製品ポートフォリオの開発推進のために特別に設計された9つの技術スペースを有しています。ここでは、最新の経口ニコチンパウチ（モダンオーラル）や、ベイプ製品用のリキッドとフレーバー、加熱式製品の研究、そして使用者のウェルビーイング、およびニコチン以外の刺激物の研究を行いません。またこの投資は、パッケージング、エンジニアリング、イノベーション開発、システム統合にも充てられることとなります。

BATのリサーチ&サイエンス・ディレクターであるジェームズ・マーフィー博士は、次のように述べています：

「この新施設の開設は、BATの変革における重要なマイルストーンであり、スモークレスな未来を実現する上で重要な役割を果たすものとなるでしょう。成人喫煙者のスモークレス製品への移行を促進し、公衆衛生上の目標達成を推進する中で、世界レベルでの客観的かつ科学的なエビデンスは不可欠です。今回のイノベーションセンターへの投資は、今後何年にも渡って、当社のグローバル研究開発チームの最先端研究と製品開発を支えることになるでしょう。」

新施設には、バイオテクノロジーや臨床試験を含むさまざまな先端分野から集められた400人の専門的科学家やエンジニアで構成された組織横断的な重要研究開発チームが集結します。BATの次世代ニュー・カテゴリー製品の開発を加速させることを目的とした研究の中には、成人喫煙者によりリスクの低い\*<sup>2</sup>代替品への切り替えを促す上で必要となる強固な科学的エビデンスの開発があります。現時点において、BATのサウサンプトンの施設で行われた研究開発の結果、スモークレス製品に関する200以上の査読付き研究が

科学雑誌に掲載され、当社からの年間数百件の特許出願につながりました。これによって、BAT はスモークレス製品の開発を続ける中での、欧州でトップクラスの特許出願者となっています。

新イノベーションセンターは、事業による健康への影響を低減し、「A Better Tomorrow™（より良い明日）」をつくるという高い目標を実現するため、最高水準の科学研究と製品開発に投資するという BAT のコミットメントを示す最新の事例となるものです。

BAT は綿密な戦略によって「スモークレスな世界をつくる」ことにコミットしており、2035 年までに売上の 50% を非可燃性製品から生み出す、スモークレスビジネスを実現することを目指しています。厳密な科学的エビデンスはこの目標を達成する上で重要であると同時に、BAT が公衆衛生上の最大の機会であると考えればこのハームリダクションの取り組みの土台となるものでもあります。

サウサンプトンにある施設は、1956 年以来、BAT の研究開発の拠点となっています。現在、主に英国全土から集まった 1,000 人以上の従業員を擁し、半径 30 マイル以内に 25 社以上のサプライヤーを持つ地域サプライチェーンとなっています。その規模を拡大して見てみると、当社の英国事業は、7,100 人も雇用を支え、英国の GDP に 3 億ポンド以上の貢献を行っています<sup>†</sup>。このイノベーションセンターの開設は、BAT による英国へ継続的な投資へのコミットメントを示す最たる例であるとともに、BAT のサウサンプトン・キャンパス全体を対象とした 8 段階からなる多段階改修プログラムの第一段階となるものです。

BAT は世界中で、英国、米国、ブラジル、インドネシア、マレーシア、中国に 1,600 人以上の研究開発専門家を擁しています。サウサンプトンの施設への 3,000 万ポンドの投資は、2021 年のトリエステ（イタリア）、2022 年の深圳（中国）での BAT のイノベーションセンター開設、そしてニュー・カテゴリー製品の開発、そしてそのリスク低減の可能性を立証するための研究開発費年間 3 億ポンドの投資に続くものです。

<sup>†</sup>Oxford Economics, The UK economic and R&D impact of BAT's alternative nicotine products（「オックスフォード・エコノミクス」BAT の代替ニコチン製品の英国経済および研究開発への影響）2021 年 4 月 22 日。

## BAT について

BAT（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ）は、1902 年に設立された、世界有数のマルチカテゴリー消費財企業です。スモークレスな世界をつくり、「A Better Tomorrow™（より良い明日）」を実現することを目指しています。

紙巻たばこが深刻な健康リスクをもたらすこと、そしてこれらのリスクを回避する唯一の方法は、その使用を始めないこと、または禁煙であることを、私たちは明確に表明し続けています。2035 年までに売上の 50% を非燃焼式製品から生み出すという当社の目標が示しているように、スモークレスな世界をつくるため、喫煙を続けようとする方々に対して科学的根拠のある代替品への完全な切り替えを推進しています。

2030 年までに 5,000 万人の非燃焼式製品の消費者を獲得し、2025 年までに 50 億英ポンドのニュー・カテゴリーの売上を生み出すことを目標としています。また、2030 年までにスコープ 1 と 2 の温室効果ガス排出量を 50% 削減、スコープ 3 の温室効果ガス排出量を 50% 削減（対 2020 年基準）、2025 年までに包装材料を 100% 再利用可能、リサイクル可能、堆肥化可能にするなどのサステナビリティ目標も掲げています。

従業員数は 4 万 6,000 人を超え、BAT グループの 2023 年の売上高は 272.8 億英ポンド、調整後営業利益は 124.6 億英ポンドでした。

私たちの戦略的ポートフォリオは、世界的な紙巻たばこブランドと、成長を続けるスモークレスたばこ製品およびニコチン製品などで構成されており、ベイプブランドの Vuse（ビューズ）<sup>※1</sup>、加熱式ブランドの glo™、モダン・オーラルブランドの VELO<sup>※2</sup>が含まれています。これらのニュー・カテゴリー製品は、10年前の投入以来、年間 30 億英ポンド以上の売上を達成しています。BAT の非燃焼式製品の消費者数は現在 2,400 万人で、2023 年のグループ売上高の 16.5%を占めています。

\* 紙巻たばこの喫煙からの完全な移行を前提とした、科学的根拠の重み付けに基づく。これらの製品に健康へのリスクがないことを意味するものではなく、これらの製品は依存性がある。

†米国で販売されている BAT のベイプ製品の Vuse (Alto, Solo, Ciro, Vibe を含む) および一部の製品 (VELO, Grizzly, Kodiak, Camel Snus など) は、米食品医薬品局 (FDA) の規制を受けており、FDA の許可なしにこれらの製品に関するリスク低減を主張することはない。

※1 日本では、ニコチン入りのベイプ製品 Vuse は販売しておらず、ゼロニコチンタイプのベイプ製品を販売しています。(2024 年 3 月 11 日時点)

※2 日本では、たばこ葉を含有しないモダン・オーラル製品 VELO は販売しておらず、たばこ葉を含むオーラルたばこ製品 VELO が販売されています。(2024 年 3 月 11 日時点)